

情報系研究機関の導入事例

大規模メモリ
ストレージシステム

YIS flex filer

IRS8D300S



大規模な音声データとテキストファイル保有する当研究機関は多くのストレージと処理のためのCPUと高速なIO処理を必要としていました。高速なアクセスを可能とするデータベースを構築する上でレイテンシーの少ない環境としてメモリストレージを構築する提案がなされ、1台のシステム上に256GBの大容量メモリ、16~24コアのプロセッサエレメントが搭載されるシステム構築となりました。これは、大規模で高速なファイル共有システム、帯域幅の拡張ニーズへ柔軟に対応した結果として提案されたものです。

このシステムを十数台保有するシステム環境は国内でも有数の物で研究者のシミュレーション実行結果が即時取得可能な演算システムと言えます。

運用面の耐障害性も高度に考慮され、高速でしかもテラサイズを超える規模までの実績を持つメモリスシステムはミラーリング、スペアリングなど、RAID機構を活用の耐障害性の高いシステムとして使用することも可能です。

最大の環境に拡張すると240コア、2.5テラバイトを誇るメモリストレージ環境でHPL*スペックは優に1テラフロップスを超えることも可能です。

※ High Performance Linpack